

Visual Flow Commander マニュアル



目次

1. はじめに	3
Visual Flow Commander (VFC) について	3
動作環境	3
連絡先	3
著作権および免責	3
更新履歴	3
2. 基本的な使い方	5
コマンドを作成して実行する	5
フォルダを作成して操作する	9
フォルダまたはコマンドの名称を編集する	12
フォルダまたはコマンドのコメントを編集する	13
フォルダまたはコマンドを別のフォルダへ移動する	14
フォルダまたはコマンドをコピーする	16
フォルダまたはコマンドを削除する	18
3. 各画面の詳細	19
メイン画面	19
コマンド編集	24
実行設定	29
統合	32
アイコン設定	33
ウィンドウ表示調整	34
全般設定	35
4. VFC で作成されるフォルダとファイルについて	37
5. FAQ	38
VFC を起動しようとするとき警告が出る	38
フォルダおよびコマンドの名称に使用できない文字について	39
「キーを押す」「キーを離す」の動作について	40
「待機する」の動作について	40
キーの入力が思うようにできない	40
VFC に関する著作権について	41
アップデートするには	41
今後のアップデートについて	41

1. はじめに

Visual Flow Commander (VFC) について

自動でキーボードの入力やマウスの操作を行うツールです。指定時間待機や指定座標の画面上の色による条件分岐なども使用できます。実行手順（コマンド）はすべて画面上で設定できるので、スクリプトなどを覚える必要はありません。コマンドを実行するアプリケーションやループの指定などの細かい設定もできます。作成したコマンドは保存しておくことができ、エクスプローラーと同じ要領で管理することができます。

動作環境

Windows10 にて動作確認済みです。

Microsoft .NET Framework 4.0 以上が必要です。

連絡先

メール empty.sky.shirangana@gmail.com
コミュニティ <http://com.nicovideo.jp/community/co2136247>
Twitter <https://twitter.com/powderdust001>

著作権および免責

本ソフトウェアはフリーソフトウェアです。どなたでもご自由にお使い頂けます。著作権は制作者の粉塵 ex が保有しています。本ソフトウェアを許可なく再配布したり販売したりすることを禁止します。

本ソフトウェアを使用したことによって生じたすべての障害、損害、不具合等に関しては、制作者および制作者の所属するいかなる団体、組織とも一切責任を負いません。

更新履歴

2015/09/18 Version 1.0.0

一般公開。

2015/10/18 Version 1.1.0

マウスの自動操作に対応。

2016/01/16 Version 1.1.1

ヘルプ > メール宛先の誤りを修正。

2016/03/04 Version 1.2.0

不具合修正。

アイコンを設定できる機能を追加。

コマンド編集画面のレイアウトを変更。

コマンド編集に元に戻す、やり直し機能を追加。

2016/09/17 Version 2.0.0

Disable キーが押されればなしになる不具合を修正。

ウィンドウの表示座標と表示サイズを調整する機能を追加。

指定回数や指定座標の画面上の色でコマンドを条件分岐する機能を追加。

システム通知の表示／非表示を切り替える機能を追加。

コマンド実行時にメイン画面の表示／非表示を切り替える機能を追加。

ショートカットを作成する機能を追加。

2019/08/29 Version 2.0.1

カレントフォルダが EXE のあるパスでない場合にコマンドフォルダやマニュアルが開けない問題を修正。

2020/09/02 Version 2.0.2

条件分岐のコマンドが複数あると正常にジャンプしない問題を修正。

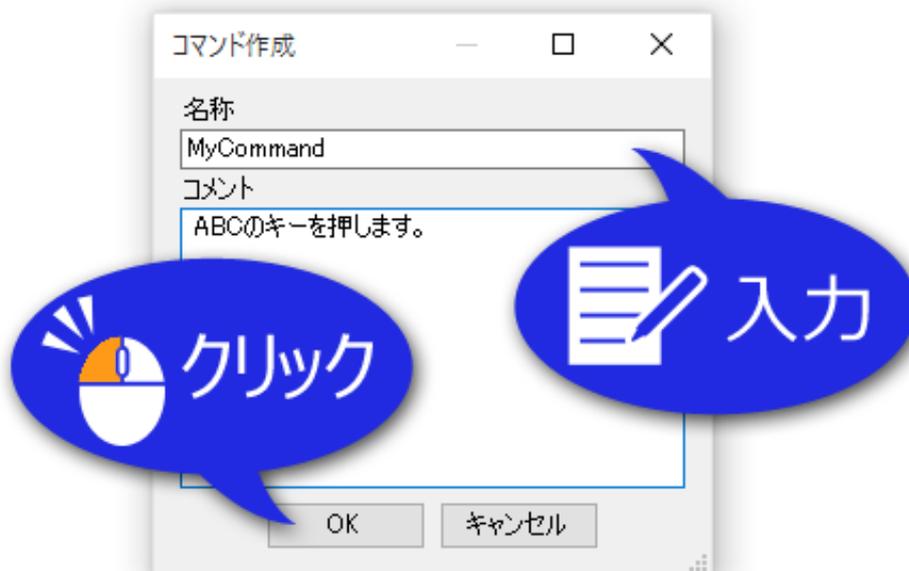
2. 基本的な使い方

コマンドを作成して実行する

「コマンド作成」をクリックします。



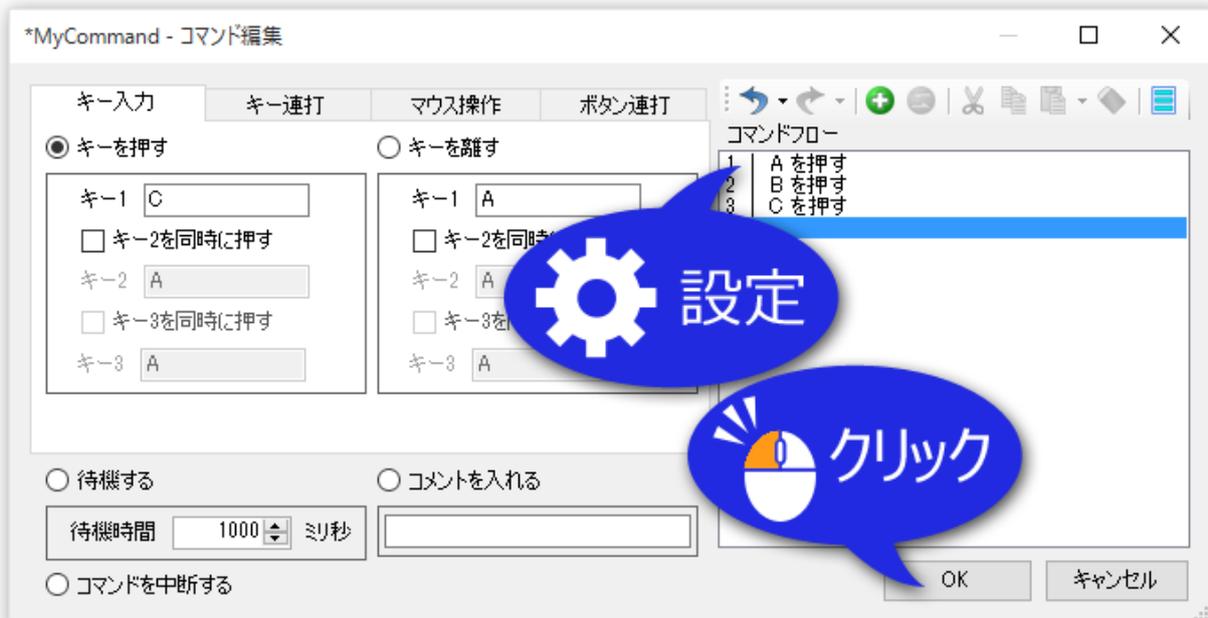
コマンドの名称を入力して OK をクリックします。コメントの入力は任意です。



コマンドを作成すると、コマンドリストにコマンドアイコンが表示されます。コマンドリストでコマンドアイコンを選択し、「コマンド編集」をクリックします。(コマンドアイコンをダブルクリックすることでもコマンド編集が可能です。)



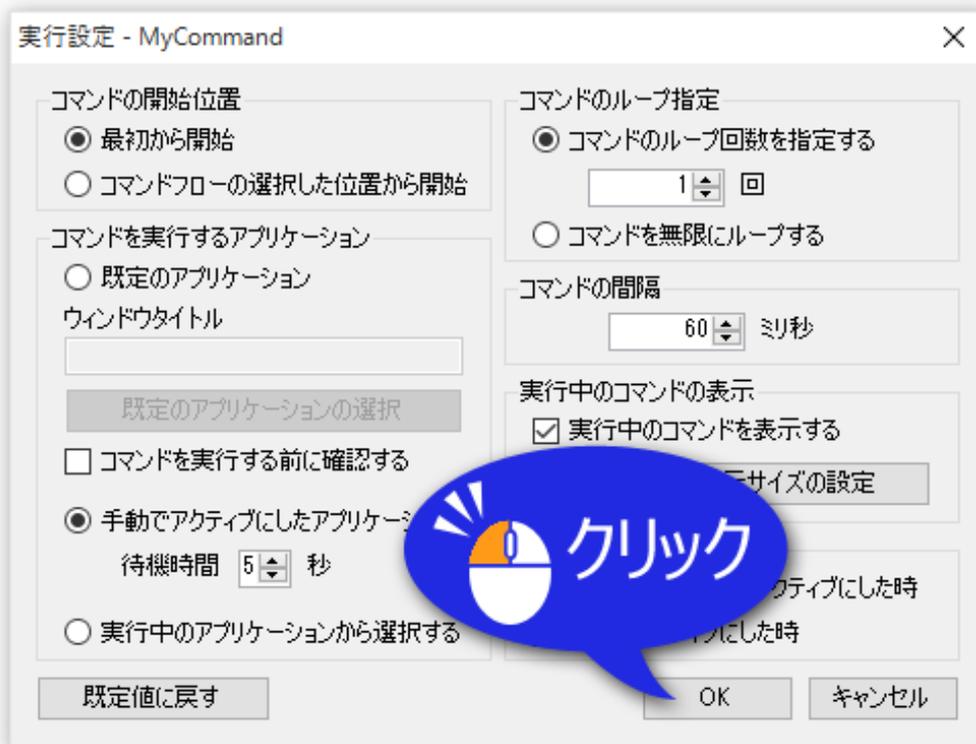
入力するキーや待機時間などを設定し、OK をクリックします。



コマンドリストでコマンドを選択し、「実行設定」をクリックします。



必要に応じて設定を変更し、OK をクリックします。



「コマンド実行」をクリックしてコマンドを実行します。



コマンドを途中で停止する場合は「コマンド停止」をクリックします。

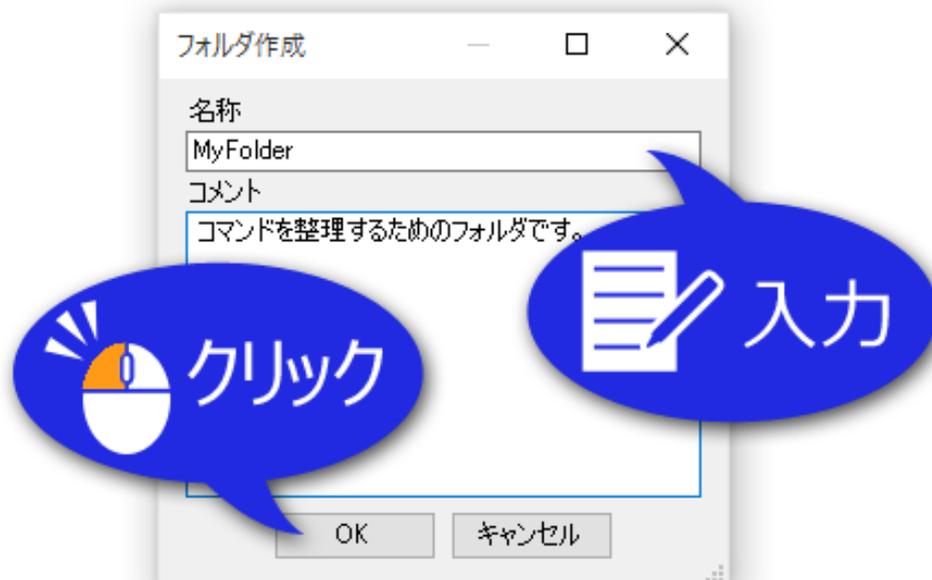


フォルダを作成して操作する

「フォルダ作成」をクリックします。



フォルダの名称を入力して OK をクリックします。コメントの入力は任意です。



フォルダを作成すると、コマンドリストにフォルダアイコンが表示されます。選択したフォルダアイコンをダブルクリックすると、そのフォルダを開きます。



「1つ上へ」のアイコンをダブルクリックすると、1つ上のフォルダへ移動します。



フォルダパスを直接入力して「フォルダ移動」をクリックする（または Enter を押す）ことで、現在のフォルダを移動することもできます。



一番上のフォルダへ移動する場合はフォルダパスを空にしてフォルダ移動します。

2階層以下のフォルダへ移動する場合は区切り文字として“¥”を使用します。

例) MyFolder¥Folder_A¥Folder_B¥Folder_C

フォルダまたはコマンドの名称を編集する

コマンドリストで名称を変更したいフォルダまたはコマンドのアイコンを選択し、名称の部分をクリックします。

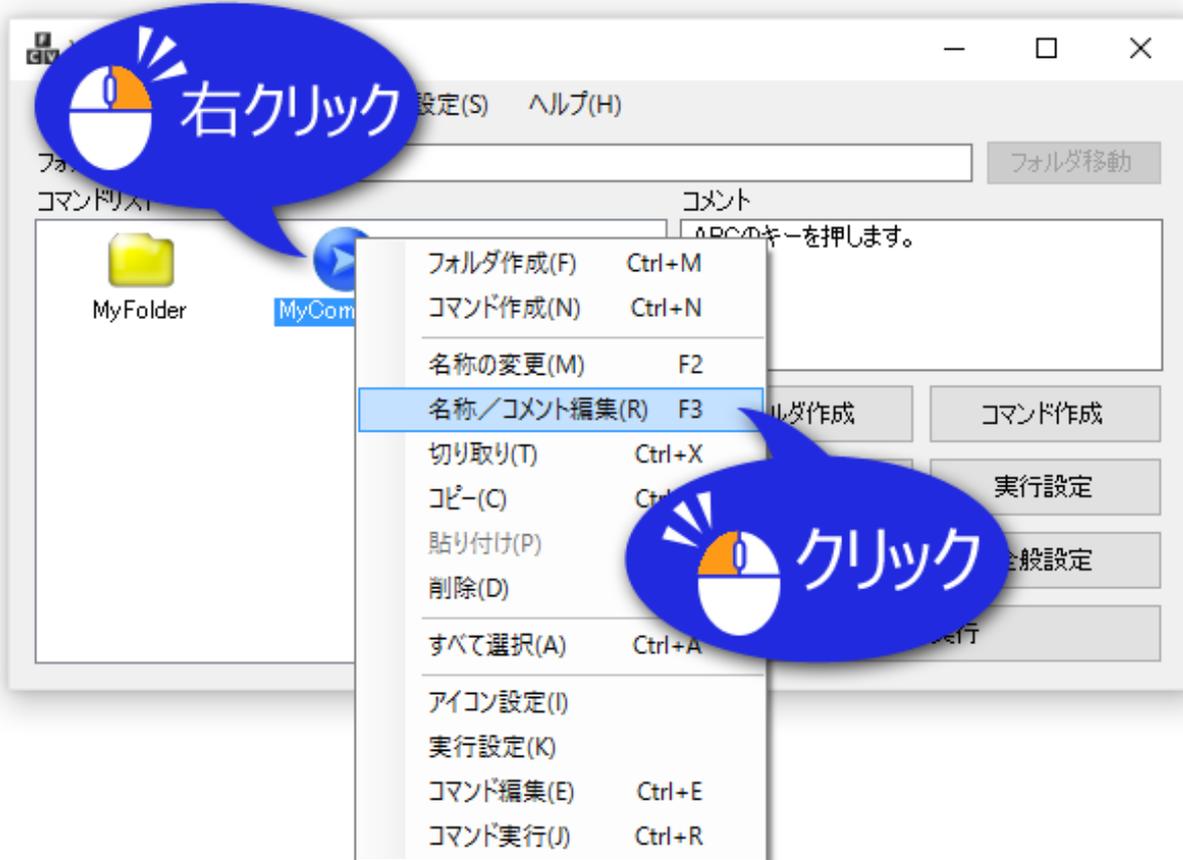


名称を入力して **Enter** を押し（または選択しているアイコンからフォーカスを外し）、編集を完了します。

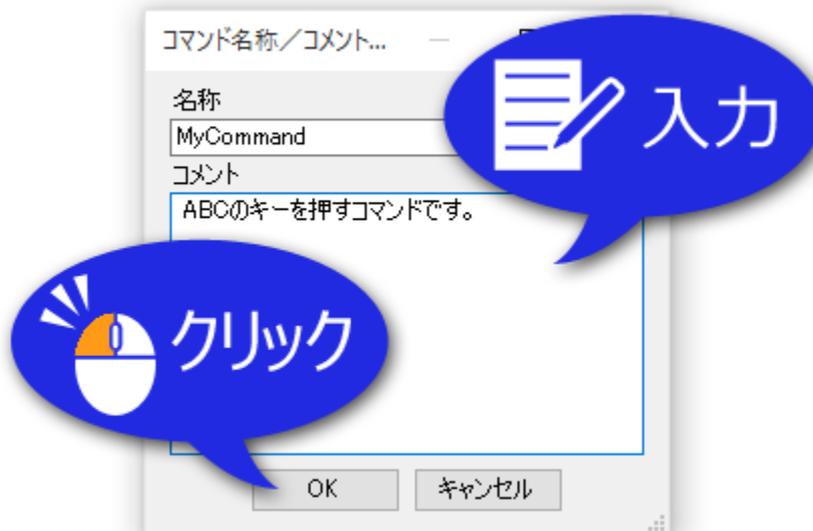


フォルダまたはコマンドのコメントを編集する

コマンドリストでコメントを変更したいフォルダまたはコマンドのアイコンを右クリックし、メニューを開いて「名称／コメント編集」をクリックします。

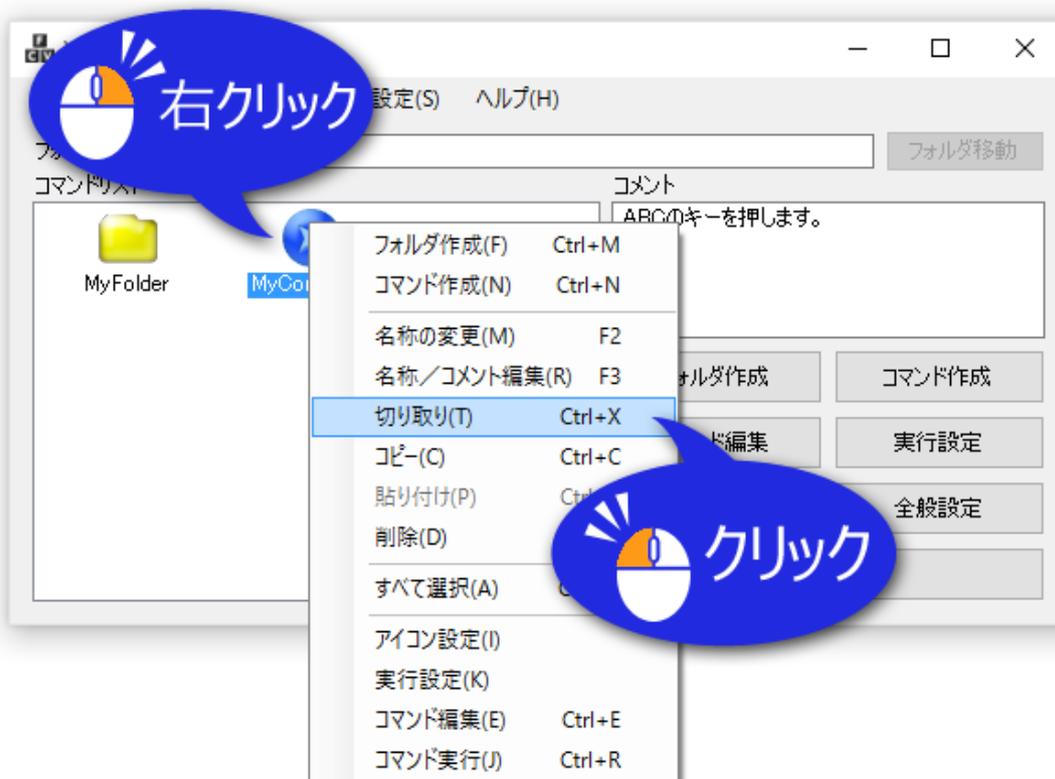


コメントを編集して OK をクリックすると、編集が完了します。

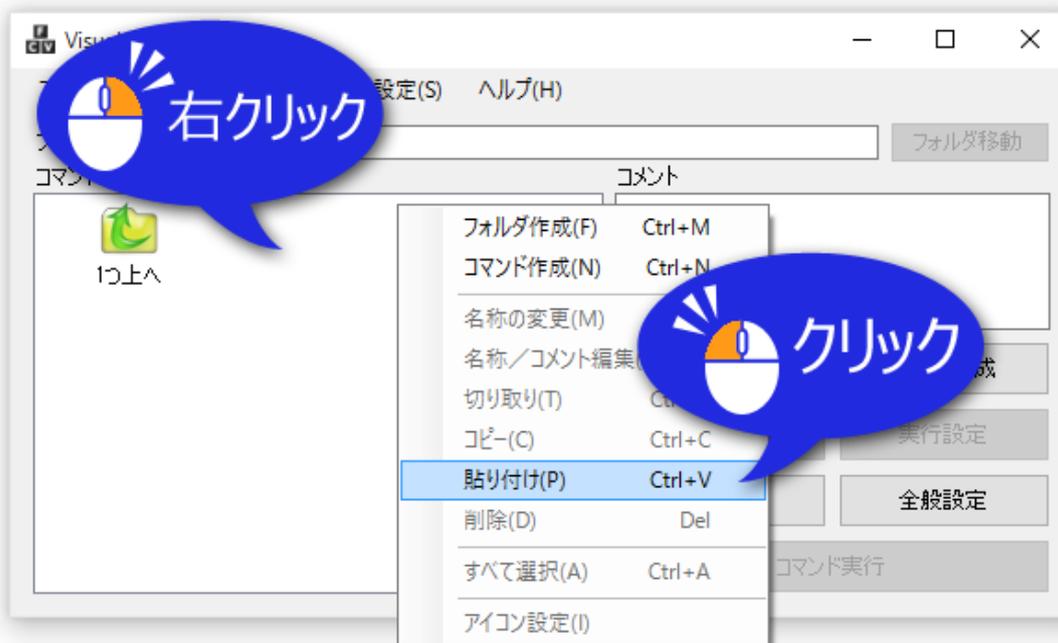


フォルダまたはコマンドを別のフォルダへ移動する

コマンドリストで移動したいフォルダまたはコマンドのアイコンを右クリックし、メニューを開いて「切り取り」をクリックします。



移動先のフォルダへ移動し、右クリックでメニューを開いて「貼り付け」をクリックします。

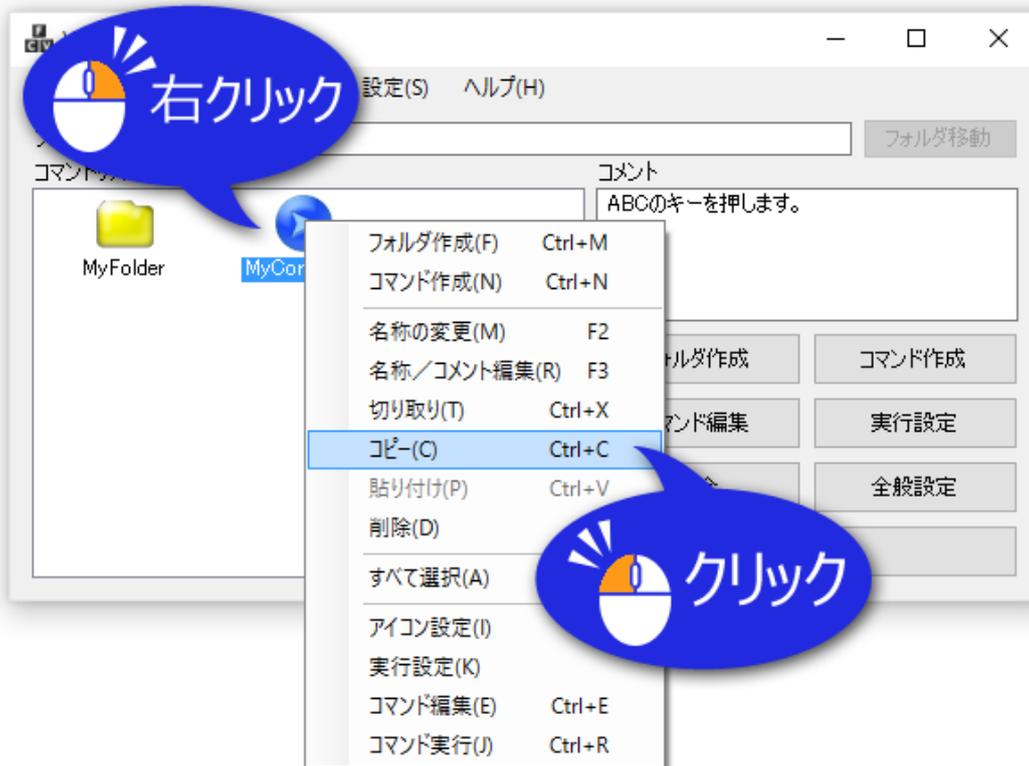


フォルダやコマンドを選択した状態でドラッグし、移動先のフォルダへドロップすることでも移動できます。

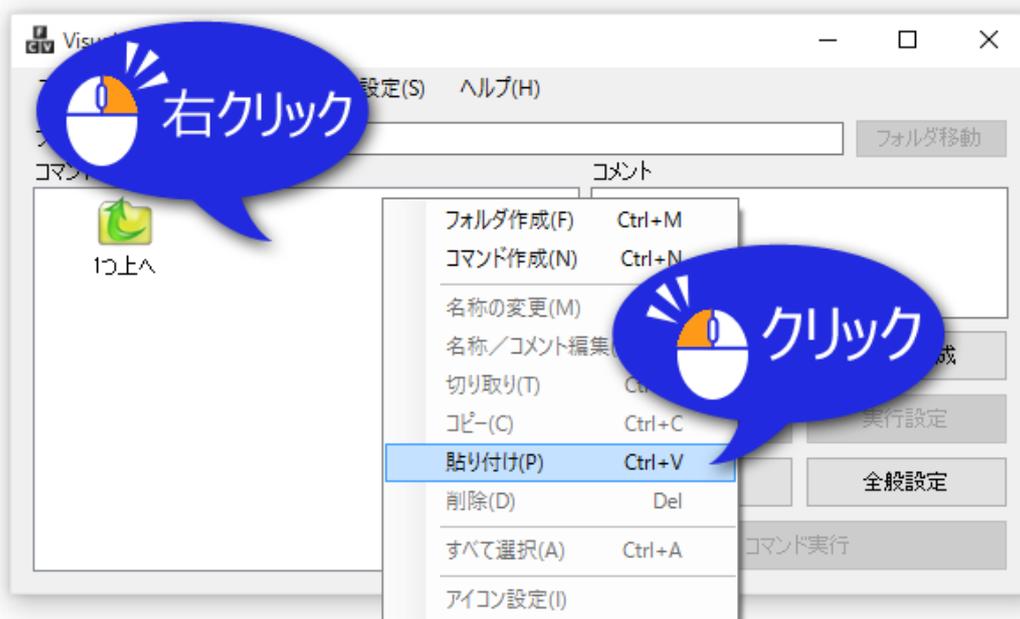


フォルダまたはコマンドをコピーする

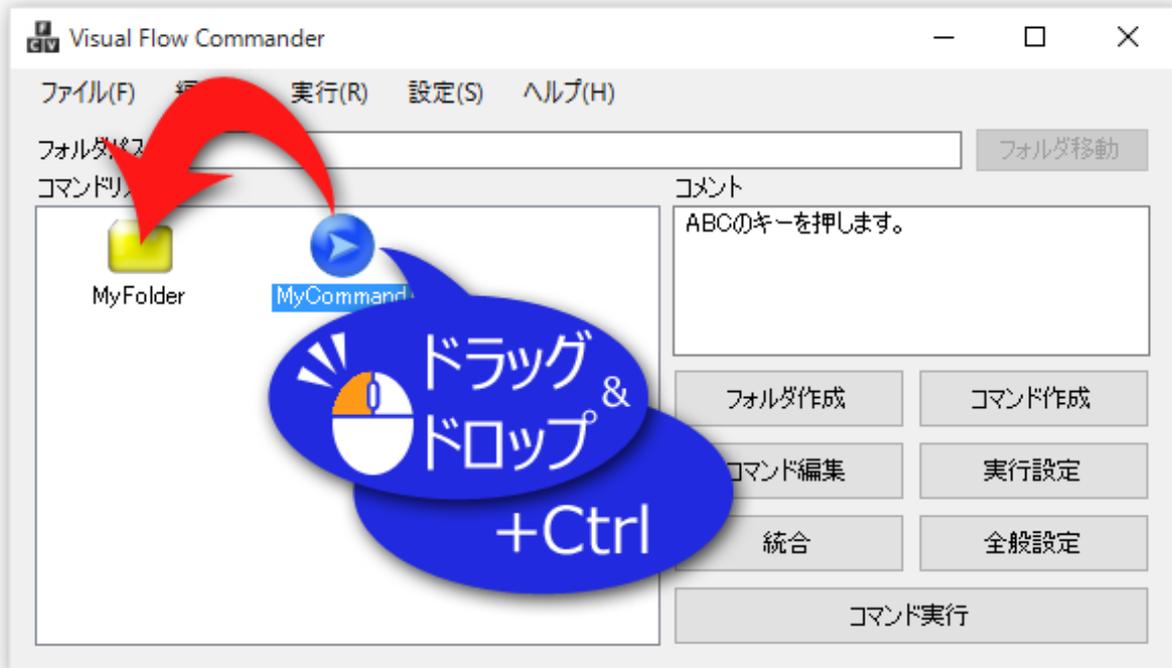
コマンドリストで移動したいフォルダまたはコマンドのアイコンを右クリックし、メニューを開いて「コピー」をクリックします。



コピー先のフォルダへ移動し、右クリックでメニューを開いて「貼り付け」をクリックします。なお、コピー元と同じフォルダへコピーした場合、名称が「コピー元の名称 (番号)」になります。

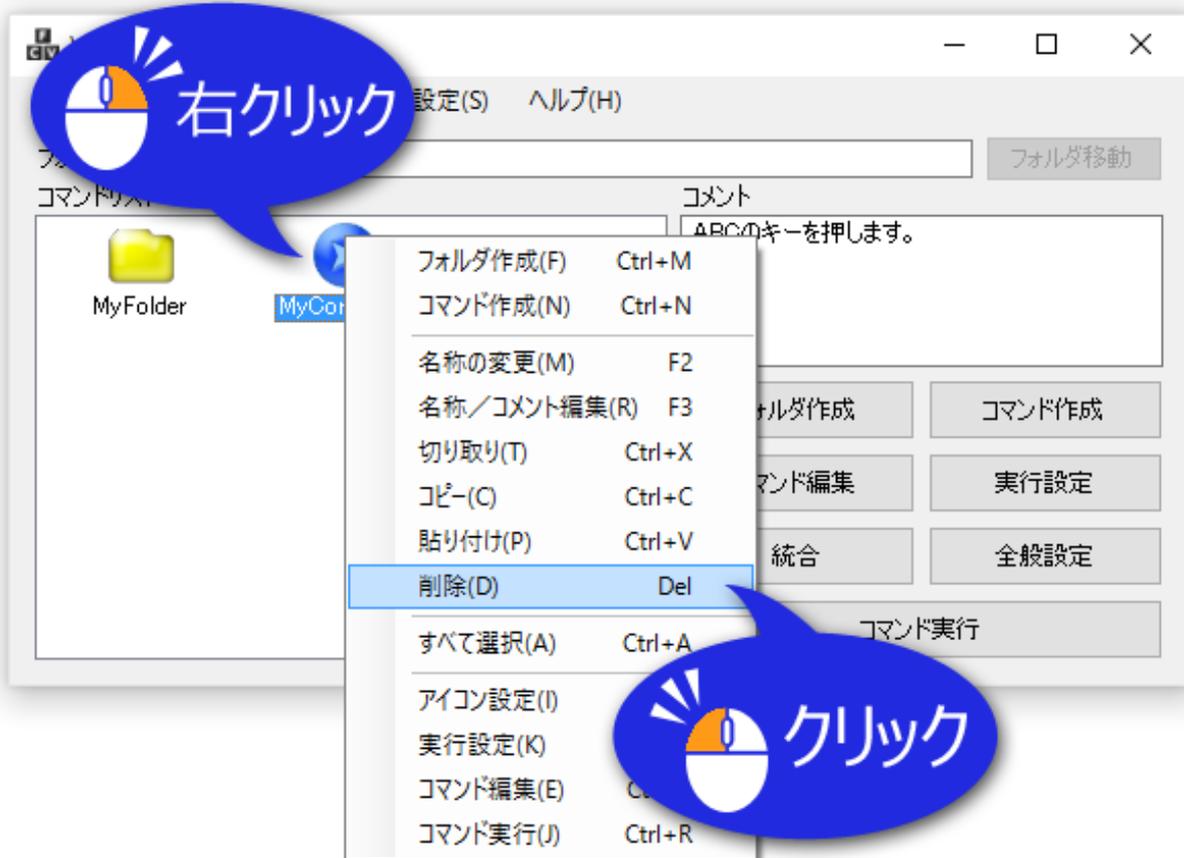


フォルダやコマンドを選択した状態で Ctrl キーを入力しながらドラッグし、コピー先のフォルダへドロップすることでもコピーできます。

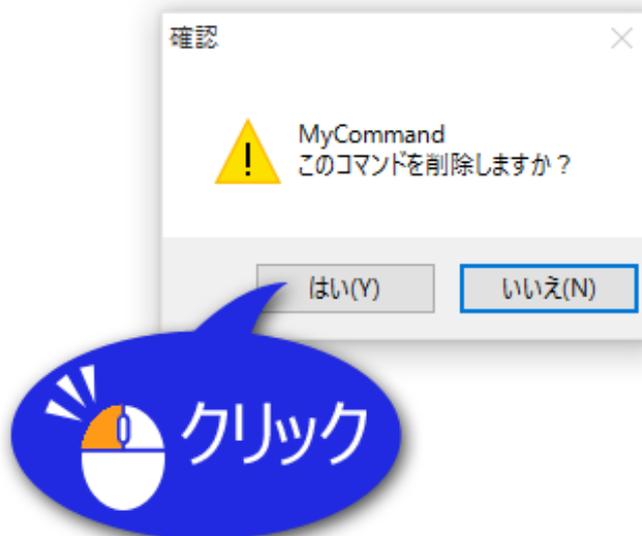


フォルダまたはコマンドを削除する

コマンドリストで削除したいフォルダまたはコマンドのアイコンを右クリックし、メニューを開いて「削除」をクリックします。



確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックすると削除されます。



3. 各画面の詳細

メイン画面



①メニュー・ファイル

➤ フォルダ作成

現在のフォルダ内にフォルダを新規作成します。
ショートカットキーは **Ctrl + M** です。

➤ コマンド作成

現在のフォルダ内にコマンドを新規作成します。
ショートカットキーは **Ctrl + N** です。

➤ ショートカット作成

ここで作成したショートカットから VFC を起動すると、起動と同時にコマンドを実行することができます。

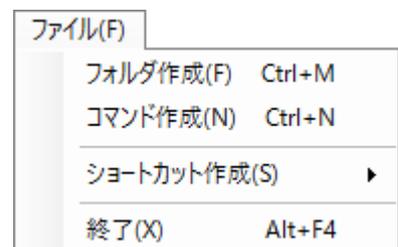
◆ デスクトップへ

コマンドリストで選択されているコマンドのショートカットをデスクトップに作成します。

◆ 指定のフォルダ

コマンドリストで選択されているコマンドのショートカットを指定のフォルダに作成します。

➤ 終了



VFC を終了します。

ショートカットキーは **Alt + F4** です。

②メニュー - 編集

➤ 名称の変更

コマンドリストで選択されているフォルダまたはコマンドの名称を変更します。

ショートカットキーは **F2** です。

➤ 名称/コメント編集

コマンドリストで選択されているフォルダまたはコマンドの名称およびコメントを編集します。

ショートカットキーは **F3** です。

➤ 切り取り

コマンドリストで選択されているフォルダおよびコマンドを切り取りモードで一時的に記憶します。フォルダおよびコマンドを複数選択しての切り取りが可能です。

ショートカットキーは **Ctrl + X** です。

➤ コピー

コマンドリストで選択されているフォルダおよびコマンドをコピーモードで一時的に記憶します。フォルダおよびコマンドを複数選択してのコピーが可能です。

ショートカットキーは **Ctrl + C** です。

➤ 貼り付け

切り取りを行った場合はフォルダおよびコマンドを現在のフォルダに移動します。

コピーを行った場合はフォルダおよびコマンドを現在のフォルダにコピーします。

ショートカットキーは **Ctrl + V** です。

➤ 削除

コマンドリストで選択されているフォルダおよびコマンドを削除します。

フォルダおよびコマンドを複数選択しての削除が可能です。

ショートカットキーは **Delete(Del)** です。

➤ すべて選択

現在のフォルダにあるフォルダおよびコマンドをすべて選択状態にします。

ショートカットキーは **Ctrl + A** です。

➤ コマンド編集

編集(E)	
名称の変更(M)	F2
名称/コメント編集(R)	F3
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(D)	Del
すべて選択(A)	Ctrl+A
コマンド編集(E)	Ctrl+E
統合(I)	

コマンドリストで選択されているコマンドの内容を編集します。

ショートカットキーは **Ctrl + E** です。

→[コマンド編集](#)

➤ 統合

現在のフォルダにあるコマンドを 1 つに統合する設定をします。

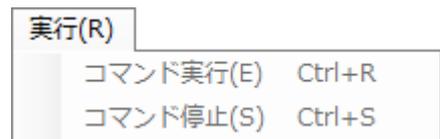
→[統合](#)

③メニュー - 実行

➤ コマンド実行

コマンドリストで選択されているコマンドを実行します。

ショートカットキーは **Ctrl + R** です。



➤ コマンド停止

実行中のコマンドを停止します。

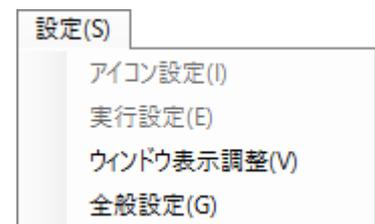
ショートカットキーは **Ctrl + S** です。

④メニュー - 設定

➤ アイコン設定

コマンドリストで選択されているフォルダおよびコマンドのアイコンの設定をします。

→[アイコン設定](#)



➤ 実行設定

コマンドリストで選択されているコマンドの実行時の設定をします。

→[実行設定](#)

➤ ウィンドウ表示調整

指定したアプリケーションのウィンドウの表示位置と表示サイズを調整します。

→[ウィンドウ表示調整](#)

➤ 全般設定

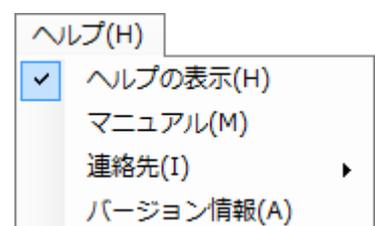
VFC 全体の基本的な動作の設定をします。

→[全般設定](#)

⑤メニュー - ヘルプ

➤ ヘルプの表示

ボタンやテキストボックスなどにマウスオーバーした際にヘルプ (ツールチップ) を表示するかどうかを設定します。チェックを入れると、



ヘルプを表示するようになります。

➤ マニュアル

VFC の実行ファイルに同梱されているマニュアルを表示します。

PDF 版が開けない場合は DOCX 版を表示します。

➤ 連絡先

◆ メール

既定のメールソフトを起動して製作者宛てのメールを新規作成します。

◆ コミュニティ

既定のブラウザで製作者のコミュニティのページを表示します。

◆ Twitter

既定のブラウザで製作者の Twitter のページを表示します。

メール(M)
コミュニティ(C)
Twitter(T)

➤ バージョン情報

VFC のバージョン情報を表示します。

⑥フォルダパス

コマンドリストで現在表示しているフォルダのパスです。

書き換えてフォルダ移動をクリックする（またはそのまま **Enter** を押す）と現在のフォルダを書き換えたフォルダのパスへ移動します。

⑦フォルダ移動

現在のフォルダから書き換えたフォルダのパスへ移動します。

⑧コマンドリスト

フォルダおよびコマンドの一覧です。

基本的な使い方は **Windows** のエクスプローラーとほぼ同じです。

右クリックでメニューを開きます。

● 1つ上へ

ダブルクリックすると1つ上のフォルダへ移動します。

一番上のフォルダ内では表示されません。

ドラッグしてきたフォルダやコマンドをここへドロップすると、フォルダやコマンドを1つ上のフォルダへ移動します。（**Ctrl** を押しながらドラッグアンドドロップした場合はコピーになります。）



● フォルダ

ダブルクリックするとそのフォルダを開きます。

ドラッグしてきたフォルダやコマンドをここへドロップすると、フォルダやコマンドをその



フォルダへ移動します。(Ctrl を押しながらドラッグアンドドロップした場合はコピーになります。)

- コマンド

ダブルクリックするとそのコマンドの内容を編集します。



- ⑨ コメント

コマンドリストで選択されているフォルダやコマンドに設定されたコメントを表示します。
複数選択されている場合は選択項目数を表示します。

- ⑩ フォルダ作成

現在のフォルダ内にフォルダを新規作成します。

- ⑪ コマンド作成

現在のフォルダ内にコマンドを新規作成します。

- ⑫ コマンド編集

コマンドリストで選択されているコマンドの内容を編集します。

- ⑬ 実行設定

コマンドリストで選択されているコマンドの実行時の設定をします。

- ⑭ 統合

現在のフォルダにあるコマンドを 1 つに統合する設定をします。

- ⑮ 全般設定

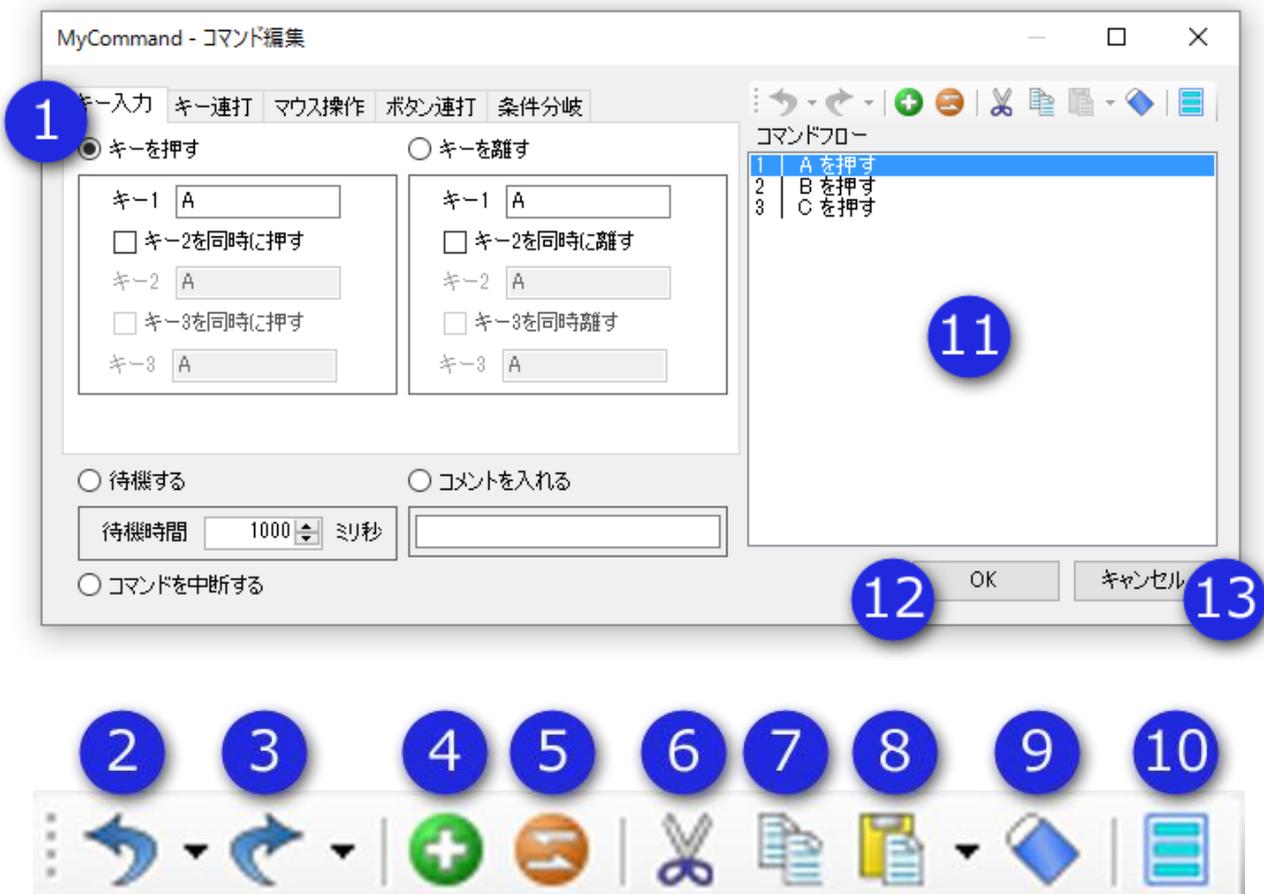
VFC 全体の基本的な動作の設定をします。

- ⑯ コマンド実行 / コマンド停止

コマンドリストで選択されているコマンドを実行します。

コマンド実行中の場合はコマンドを停止します。

コマンド編集



①コマンド設定

挿入または書き換えを行うコマンドを設定します。

➤ 「キー入力」タブ

「キーを押す」と「キーを離す」が設定できます。

➤ 「キー連打」タブ

「キーの連打を開始する」と「キーの連打を停止する」が設定できます。

➤ 「マウス操作」タブ

「マウスポインタを移動する」と「マウスボタンを操作する」と「マウスホイールを回転する」が設定できます。

➤ 「ボタン連打」のタブで

「マウスボタンの連打を開始する」と「マウスボタンの連打を停止する」が設定できます。

◆ キー入力タブ

● キーを押す

キーを押す動作を設定します。同時に3つまで押すキーを設定できます。厳密には、キー-1 → キー-2 → キー-3 の順に押されます。

キー-1

キー-2を同時に押す

キー-2

キー-3を同時に押す

キー-3

キーの入力欄で右クリックすると、対応しているキーの一覧を表示します。キーの入力欄にフォーカスがある時にキーボードでキーを押すと、キーが設定されます。(キー1でキーを押した場合は、コマンドフローの選択位置にコマンドが挿入されます。)

- キーを離す

キーを離す動作を設定します。同時に3つまで離すキーを設定できます。厳密には、キー1 → キー2 → キー3 の順に離されます。

キーの入力欄で右クリックすると、対応しているキーの一覧を表示します。キーの入力欄にフォーカスがある時にキーボードでキーを押すと、そのキーが設定されます。(キー1でキーを押した場合は、コマンドフローの選択位置にコマンドが挿入されます。)

- ◆ キー連打タブ

- キーの連打を開始する

キーの連打を開始する動作を設定します。

Key1, Key2, Key3 のうちから連打を割り当てる場所を設定します。すでに連打が割り当てられている場所に設定した場合は上書きされます。

キーの入力欄で右クリックすると、対応しているキーの一覧を表示します。キーの入力欄にフォーカスがある時にキーボードでキーを押すと、そのキーが設定されます。

「入力時間」はキーが押されてから離されるまでの時間です。

「連打間隔」はキーが離されてから押されるまでの時間です。

連打回数の指定を有効にすると、指定回数だけ連打してから次のコマンドへ移ります。連打回数の指定を無効にすると、連打したままの状態での次のコマンドへ移ります。

- キーの連打を停止する

キーの連打を停止する動作を設定します。

連打回数を指定していない連打を停止するために使用します。これを設定していない場合、連打回数を指定していない連打はコマンドを手動で停止するか「コマンドを中断する」のコマンドがあるまで連打が続行されます。

- ◆ マウス操作タブ

- マウスポインタを移動する

マウスポインタの移動を設定します。

「絶対座標」にすると、マウスポインタを指定した座標位置へ移動します。「相対座標」にすると、マウスポインタを相対的な座標位置へ移動します。

「X座標」は画面の左右方向の座標の指定です。「絶対座標」の場合は画面の左端が0になります。「相対座標」の場合は移動前の時点での座標が0になります。

「Y座標」は画面の上下方向の座標の指定です。「絶対座標」の場合は画面の上端が0になります。「相対座標」の場合は移動前の時点での座標が0になります。

「座標の取得」は実際に画面をクリックまたはドラッグして座標を取得します。

- マウスボタンを操作する

マウスボタンの操作を設定します。

「ボタン」の項目で操作するボタンを選択します。

「動作」の項目でボタンの操作を選択します。

ボタン	左ボタン
動作	クリック

- マウスホイールを回転する

マウスホイールの回転を設定します。

回転量の設定は、正の値にすると上方向へスクロールする回転、負の値にすると下方向へスクロールする回転になります。

回転量	-120
-----	------

- ◆ ボタン連打タブ

- マウスボタンの連打を開始する

マウスボタンの連打を開始する動作を設定します。

Btn1, Btn2, Btn3 のうちから連打を割り当てる場所を設定します。

「連打ボタン」の項目で連打するマウスボタンを選択します。

「連打間隔」はマウスボタンをクリックする時間の間隔です。

連打回数の指定を有効にすると、指定回数だけ連打してから次のコマンドへ移ります。連打回数の指定を無効にすると、連打したままの状態での次のコマンドへ移ります。

<input checked="" type="radio"/> Btn1	<input type="radio"/> Btn2	<input type="radio"/> Btn3
連打ボタン	左ボタン	
連打間隔	60	ミリ秒
<input type="checkbox"/> 連打回数を指定する		
連打回数	100	回

- マウスボタンの連打を停止する

マウスボタンの連打を停止する動作を設定します。

連打回数を指定していないマウスボタンの連打を停止するために使用します。これを設定していない場合、連打回数を指定していない連打はコマンドを手動で停止するか「コマンドを中断する」のコマンドがあるまで連打が続行されます。

<input checked="" type="radio"/> Btn1	<input type="radio"/> Btn2	<input type="radio"/> Btn3
---------------------------------------	----------------------------	----------------------------

- ◆ 条件分岐タブ

- ジャンプ先

「指定回数でジャンプ」または「指定座標の色でジャンプ」でジャンプ条件を満たした際のジャンプ先のラベル名を設定します。コマンド内に同じジャンプ先ラベルを複数設定することはできません。

ラベル	
-----	--

- 指定回数でジャンプ

このコマンドを通過した回数で条件分岐する設定を行います。指定したカウントに達していたら（または達していなければ）指定のラベルにジャンプします。ジャンプ先のラベルが設定されている必要があります。

10	回に達していたら		へジャンプ
----	----------	--	-------

- 指定座標の色でジャンプ

このコマンドを通過した時点での指定座標の画面上の色で条件分岐する設定を行います。

X座標	0	Y座標	0	座標の色の取得
	# FFFFFFFF	であれば		へジャンプ

指定した座標の色が一致していれば（または一致していなければ）指定のラベルにジャンプします。ジャンプ先のラベルが設定されている必要があります。

- 待機する

前のコマンドから次のコマンドまでの待機時間を設定します。時間の入力欄で **Enter** を押すと、コマンドフローの選択位置にコマンドが挿入されます。

待機時間	1000	ミリ秒
------	------	-----

- コマンドを中断する

連打やループの設定を無視してコマンドを自動的に中断する場合に設定します。

- コメントを入れる

コメントを設定します。コマンドの説明などのために使用します。コマンドの実行には影響しません。

②元に戻す

ボタン部分をクリックすると、編集状態を 1 つ前の状態に戻します。▼部分をクリックすると、いくつ前の状態に戻すかを選択できます。元に戻せる回数は全般設定で設定できます。

③やり直し

ボタン部分をクリックすると、元に戻す前の状態に進めます。▼部分をクリックすると、いくつ前の状態に進めるかを選択できます。

④挿入

コマンドフローで選択されている位置に左側で設定したコマンドを挿入します。複数行選択されている場合、選択されているすべての位置にコマンドを挿入します。ショートカットキーは **Ctrl + I** です。

⑤書き換え

コマンドフローで選択されているコマンドを左側で設定したコマンドに書き換えます。複数行選択されている場合、選択されているすべてのコマンドを書き換えます。ショートカットキーは **Ctrl + W** です。

⑥切り取り

コマンドフローで選択されているコマンドを切り取ります。複数行選択されている場合、選択されているコマンドを上から順に切り取ります。ショートカットキーは **Ctrl + X** です。

⑦コピー

コマンドフローで選択されているコマンドをコピーします。

複数行選択されている場合、選択されているコマンドを上から順にコピーします。

ショートカットキーは **Ctrl + C** です。

⑧貼り付け**➤ 挿入貼り付け**

コマンドフローで選択されている位置に切り取りまたはコピーしたコマンドを挿入します。

複数行選択されている場合、選択されているすべての位置にコマンドを挿入します。

ショートカットキーは **Ctrl + V** です。

➤ 書き換え貼り付け

コマンドフローで選択されている位置のコマンドを切り取りまたはコピーしたコマンドに書き換えます。

複数行選択されている場合、選択されているすべての位置のコマンドを書き換えます。

⑨削除

コマンドフローで選択されているコマンドを削除します。

複数行選択されている場合、選択されているコマンドをすべて削除します。

ショートカットキーは **Delete(Del)** です。

⑩すべて選択

設定されているコマンドをすべて選択状態にします。

⑪コマンドフロー

コマンドのフローです。

コマンドは上から順に実行されます。

右クリックでメニューを開きます。

選択しているコマンドをダブルクリックすると、そのコマンドをコマンド設定へ複写します。

⑫OK

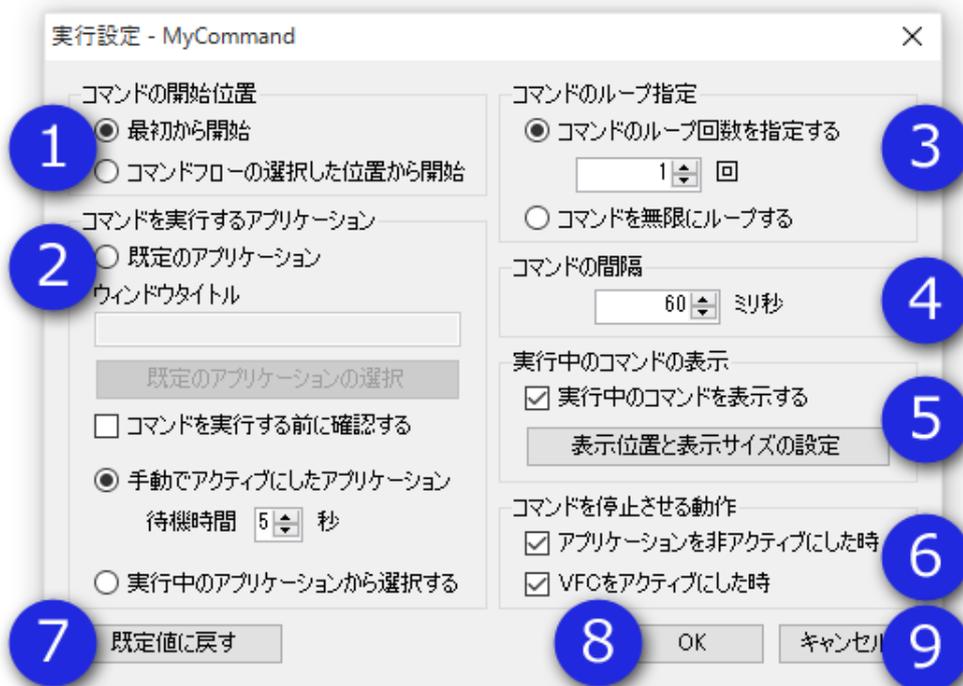
編集内容を保存して編集を終了します。

⑬キャンセル

編集を終了します。

編集済みの場合は確認ダイアログを表示します。

実行設定



①コマンドの開始位置

コマンドの実行開始位置を設定します。

➤ 最初から開始

コマンドの最初から開始します。

➤ 「コマンドフローの選択した位置から開始

コマンド実行前にコマンドフローを表示し、選択した位置からコマンドを開始します。

②コマンドを実行するアプリケーション

コマンドを実行するアプリケーションをどのように選択するかを設定します。

➤ 既定のアプリケーション

コマンド実行開始時に起動しているアプリケーションの中から既定のアプリケーションとして設定されたものを探し出し、自動的にコマンドを実行します。ただし、ウィンドウタイトルがあるものに限られます。また、コマンド実行時には対象のアプリケーションをあらかじめ起動しておく必要があります。「既定のアプリケーションの選択」をクリックすると、現在起動しているアプリケーションから選択して設定できます。「コマンドを実行する前に確認する」にチェックを入れると、コマンド実行開始前に確認ダイアログを表示します。

➤ 手動でアクティブにしたアプリケーション

コマンド実行前にカウントダウンを表示し、カウントが 0 になった時点でアクティブになっているアプリケーションでコマンドを実行開始します。

➤ 実行中のアプリケーションから選択する

コマンド実行前にアプリケーションを都度選択します。

③ コマンドのループ指定

コマンドのループを指定します。

➤ コマンドのループ回数を指定する

コマンドを指定回数だけ実行すると終了します。

➤ コマンドを無限にループする

手動でコマンドを停止するまで繰り返し実行されます。

④ コマンドの間隔

前のコマンドから次のコマンドまでの間隔（既定の待機時間）を設定します。

⑤ 実行中のコマンドの表示

コマンド実行中のコマンドフローのウィンドウの表示を設定します。

➤ 実行中のコマンドを表示する

チェックを入れると、コマンド実行中にコマンドフローのウィンドウを表示します。

➤ 表示位置と表示サイズの設定

コマンドフローのウィンドウの表示位置と表示サイズを設定できます。

⑥ コマンドを停止させる動作

「コマンド停止」のボタンをクリックする以外で、実行中のコマンドを停止させる動作を設定します。

➤ アプリケーションを非アクティブにした時

チェックを入れると、コマンドを実行しているアプリケーションが非アクティブ状態になった時点でコマンドを停止します。Windows エクスプローラーなど一部のアプリケーションではアクティブ状態が取得できない場合があります。

➤ VFC をアクティブにした時

チェックを入れると、VFC のメインウィンドウをアクティブにした時点でコマンドを停止します。

⑦既定値に戻す

すべての設定を既定値に戻します。

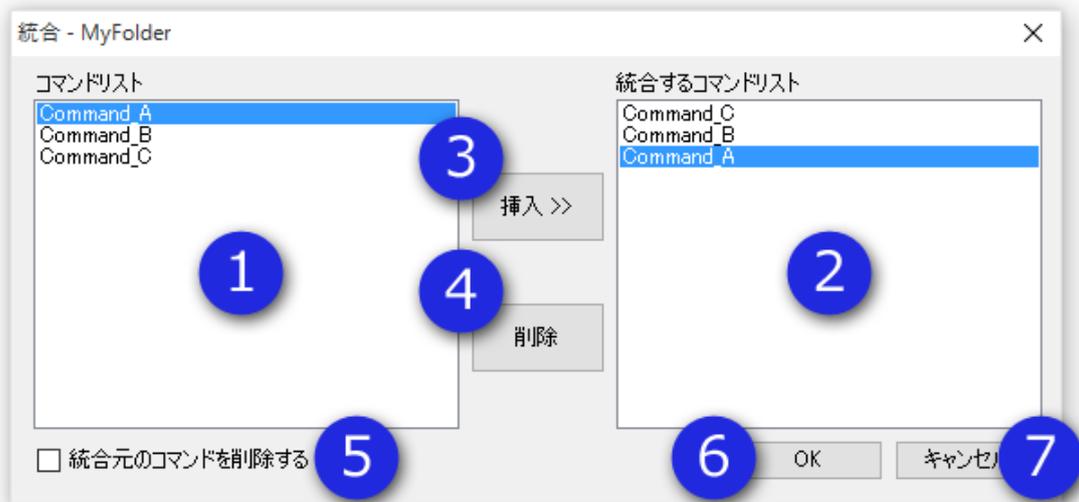
⑧OK

設定内容を保存して設定を終了します。

⑨キャンセル

設定内容を破棄して設定を終了します。

統合



①コマンドリスト

フォルダ内にあるコマンドの一覧です。

②統合するコマンドリスト

統合するコマンドの一覧です。

コマンドは上から順に統合されます。

③挿入

左側のリストで選択しているコマンドを右側のリストの選択位置に挿入します。

④削除

右側のリストで選択しているコマンドをリストから削除します。

⑤統合元のコマンドを削除する

チェックを入れると、コマンド統合後に統合元にしたコマンドを削除します。

削除する場合、コマンドの名称とコメントは右側のリストで一番上に設定されたコマンドの設定が適用されます。

⑥OK

コマンドを統合します。

実行設定は右側のリストで一番上に設定されたコマンドの設定が適用されます。

⑦キャンセル

統合設定を破棄してコマンドの統合を中止します。

アイコン設定



①登録アイコンを使用する

登録アイコンリストで選択されているアイコンを使用するように設定します。

②登録アイコンリスト

VFC にあらかじめ登録されているアイコンの一覧です。

③ローカルの画像を使用する

PC 上に保存している画像ファイルをアイコン化して使用するように設定します。

④アイコンイメージ

画像ファイルをアイコン化して表示しています。ダブルクリックすると画像ファイルを選択します。

⑤画像を選択

アイコンとして使用する画像ファイルを選択します。画像は縦横比を無視して 32×32 のサイズに変換されます。元の画像が大きいと、縮小した際に画像が粗くなることがあります。その場合、画像編集ソフトなどであらかじめ適切なサイズに変換してください。

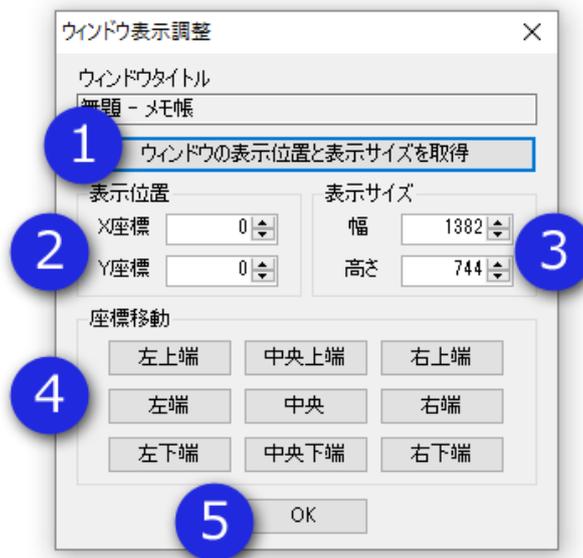
⑥OK

設定内容を保存して設定を終了します。

⑦キャンセル

設定内容を破棄して設定を終了します。

ウィンドウ表示調整



①ウィンドウの表示位置と表示サイズを取得

表示調整を行っているアプリケーションウィンドウの表示位置と表示サイズを取得します。

②表示位置

アプリケーションウィンドウの X 座標と Y 座標を調整します。X 座標はディスプレイの左端が 0 になります。Y 座標はディスプレイの上端が 0 になります。

③表示サイズ

アプリケーションウィンドウの幅と高さを調整します。

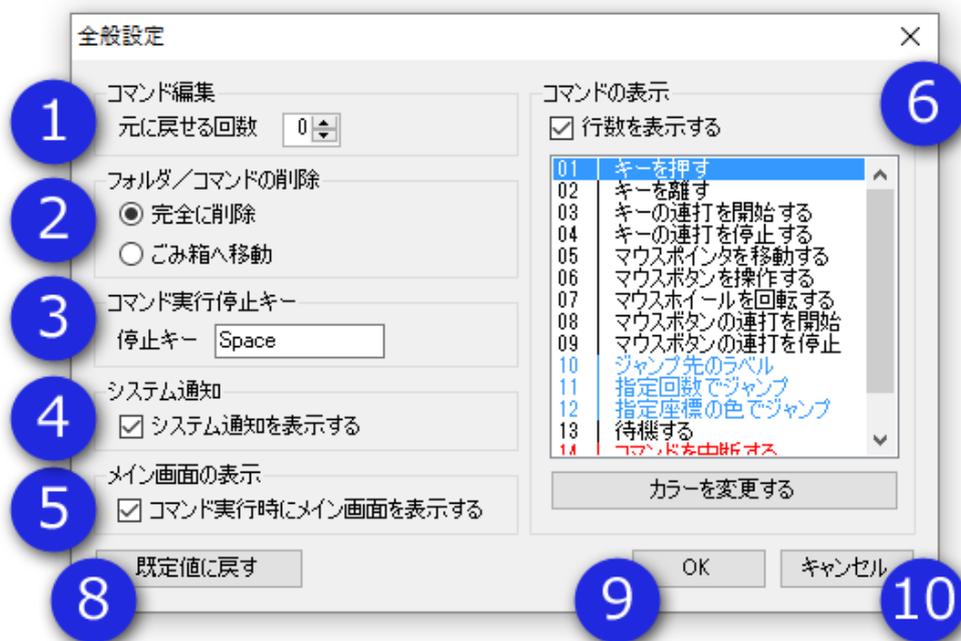
④座標移動

アプリケーションウィンドウをディスプレイの端、または中央に移動します。

⑤OK

ウィンドウ表示調整を終了します。

全般設定



①コマンド編集

➤ 元に戻せる回数

コマンド編集の「元に戻す」で、いくつ前の動作まで戻すことができるかを設定します。

0にすると「元に戻す」は使用できません。設定値を大きくすると、その分メモリを多く使用しますので、ご注意ください。

②フォルダ/コマンドの削除

フォルダまたはコマンドの削除時の動作（統合での削除を含む）を設定します

➤ 完全に削除

削除の際にごみ箱へ移動せずに完全に削除します。

➤ ごみ箱へ移動

削除の際にごみ箱へ移動します。

③コマンド実行停止キー

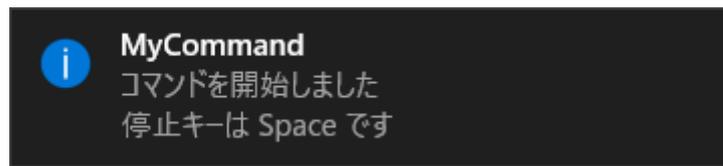
ここで設定したキーをコマンド実行中に押すと、コマンドが中断されます。

キーの入力欄にフォーカスがある状態で、キーボードでキーを入力すると、停止キーが設定されます。

コマンド内にこのキーを押す動作があると、そこでコマンドが停止することがありますので、ご注意ください。

④システム通知

チェックを入れるとコマンド実行時および停止時に通知アイコン上にシステム通知を表示します。



⑤メイン画面の表示

チェックを入れるとコマンド実行時にメイン画面を表示したままにします。

⑥コマンドの表示

コマンドフローを表示する際各コマンドの見た目を設定します。

➤ 行数を表示する

チェックを入れると、各コマンドの左側に行数を表示します。

➤ コマンドリスト

リストの項目をダブルクリックすると、その項目の文字色を設定します。

➤ カラーを変更する

リストで選択されているコマンドの文字色を設定します。

⑦既定値に戻す

すべての設定を既定値に戻します。

⑧OK

設定内容を保存して設定を終了します。

⑨キャンセル

設定内容を破棄して設定を終了します。

4. VFC で作成されるフォルダとファイルについて

フォルダやファイルをエクスプローラーなどで直接操作する場合は、十分に内容を理解した上で行ってください。暗号化されているファイルはテキストエディタなどで編集しないでください。

- **VFC.ini** (ファイル)

VFC の基本的な情報を保存しているファイルです。

- **Setting.ini** (ファイル)

全般設定の設定内容を保存しているファイルです。

- **Command** (フォルダ)

コマンドやフォルダを保存しているフォルダです。

コマンドを保存しているフォルダの末尾には “\$@~” が付いています。

- **Command** (ファイル)

コマンドの内容を保存しているファイルです。

- **Comment.txt** (ファイル)

フォルダやファイルに設定されたコメントを保存しているファイルです。

- **ExeSetting.ini** (ファイル)

コマンドの実行設定の設定内容を保存しているファイルです。

- **IconSetting.ini** (ファイル)

アイコン設定の設定内容を保存しているファイルです。

- **UserIcon.png** (ファイル)

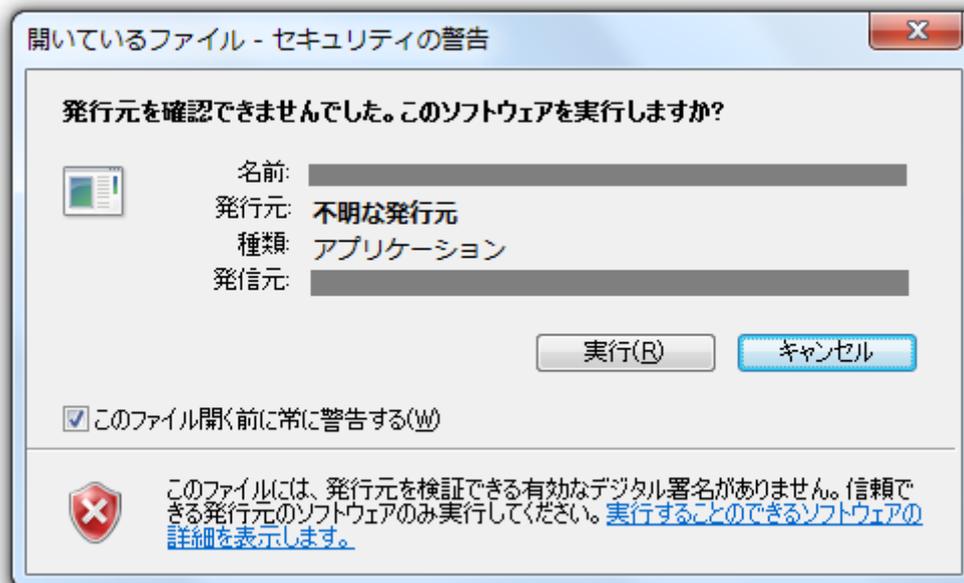
アイコン設定でローカルの画像を使用した場合に保存されるファイルです。

5. FAQ

VFC を起動しようとするすると警告が出る

インターネット上からダウンロードしてきた実行形式のファイルは、起動する際に次のような警告ダイアログが表示されることがあります。

▼Windows7 の場合

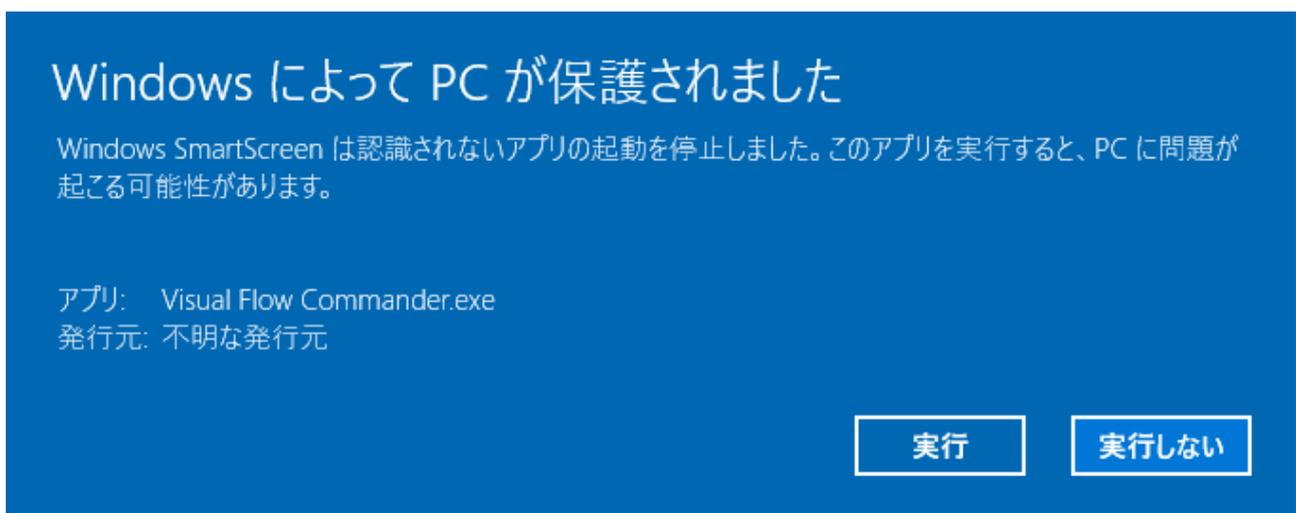


「実行」をクリックすれば、起動することができます。「このファイル開く前に常に警告する」もしくは「この種類のファイルであれば常に警告する」のチェックを外しておけば、以降の起動ではこのダイアログは表示されません。（チェックを外すことによって、この警告ダイアログの表示がスキップされるのは、このソフトウェアの起動のみです。）

▼Windows10 の場合



「詳細情報」をクリックすると「実行」のボタンが表示されます。



「実行」をクリックすれば、起動することができます。以降の起動ではこのダイアログは表示されません。

フォルダおよびコマンドの名称に使用できない文字について

フォルダおよびコマンドの名称に次の文字は使用できません。

¥/:*?"<>| (半角のみ)

名称に“\$@~”という文字列は使用できません。

フォルダの名称の末尾に“.”(半角ドット)は使用できません。

名称の先頭と末尾の半角スペースは自動的に削除されます。

「キーを押す」「キーを離す」の動作について

「キーを押す」のコマンドを使用すると「キーが押された」という情報が PC に 1 回だけ送られます。(実際に手動でキーを押しっぱなしにした場合、「キーが押された」という情報を PC に送り続ける状態になるため、「キーを押す」のコマンドとは微妙に動作が異なります。)

「キーを離す」のコマンドを使用すると「キーが離された」という情報が PC に 1 回だけ送られます。

「待機する」の動作について

「待機する」のコマンドは「前のコマンドから次のコマンドまでの時間」を一時的に設定するコマンドです。「前のコマンドから次のコマンドまでの時間」は「待機する」のコマンドが設定されていない場合、実行設定の「コマンドの間隔」の設定が適用されます。

例) コマンドの間隔が 60 ミリ秒に設定されている場合

1	A を入力する	開始直後に入力/ループ後は C の入力から 60 ミリ秒後に入力
2	B を入力する	A の入力から 60 ミリ秒後に入力
3	100 ミリ秒待機する	
4	C を入力する	B の入力から 100 ミリ秒後に入力

キーの入力が思うようにできない

アプリケーションに対してキー入力を行った時、具体的にどのタイミングで動作が発生するかを確認してみてください。

例)

- キーが離されている状態からキーが押された時
- キーが押された時
- キーが押されてから離されるまでの間
- キーが離された時
- キーが押されている状態からキーが離された時

キーの入力時間（キーを押してから離すまで）が短かったり、短い間隔でキーの入力を連続で行ったりすると、アプリケーションによってはキーの入力を受け付けない場合があります。その場合は、キーの入力時間やコマンドの間隔を長くしてみてください。

なお、VFC は入力対象のアプリケーションのフレームレートなどを監視しているわけではありませんので、必ずしも一定の動作が保障されるわけではありません。また、一部の PC ゲームなどでは、ソフトウェアによる自動入力をブロックしていることがありますのでご注意ください。

VFC に関する著作権について

VFC 自体の再配布や販売は禁止しています。ただし、VFC を使用した記事や動画、画面キャプチャ等については禁止していません。事前の連絡なども必要ありません。

また、VFC で作成されるファイルやフォルダに関しては再配布を禁止していません。なお、暗号化されているファイルについては VFC でなければ読み込むことができませんので、ご注意ください。

アップデートするには

以下の URL より最新版をダウンロードしてください。

<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/util/se511192.html>

ダウンロードした ZIP ファイルを任意のフォルダに展開し、古いバージョンの VFC が置いてあるフォルダにある下記のフォルダおよびファイルを、新しいバージョンの VFC を展開したフォルダへコピーしてください。

- Command (フォルダ)
- Setting.ini (ファイル)
- VFC.ini (ファイル)

今後のアップデートについて

特に予定はしていませんが、不具合や要望などがあれば対応いたします。アップデートした際には、コミュニティや Twitter でお知らせします。

なお、今後も VFC がシェアウェア（有償のソフトウェア）になることはありません。